

# 令和6（2024）年度 「高校生！みんなでかぶろう自転車ヘルメット」着用促進モデル校を対象とするヘルメット等に関するアンケート結果

令和6（2024）年10月まとめ  
栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課

## 1 調査目的

高校生の自転車ヘルメット着用状況や自転車保険の加入状況を把握し、今後の自転車安全利用促進に向けた取組の参考とする

## 2 調査実施の概要

### (1) 調査期間

令和6（2024）年7月8日(月)から同年7月31日(水)まで

### (2) 調査方法

令和6（2024）年度「高校生！みんなでかぶろう自転車ヘルメット」着用促進モデル校に調査を依頼し、生徒がマイクロソフト・フォームズにより回答

### (3) 対象者

令和6（2024）年度「高校生！みんなでかぶろう自転車ヘルメット」着用促進モデル校生徒  
(4,875人)

※モデル高校 県立高校8校 私立高校2校

## 3 回答率

回答率 67.4%（アンケート対象者 4,875人、回答者 3,288人）

表1 回答者属性（学年・性別）

学年・性別		回答数	構成比
合計		3,288人	100.0%
	男	1,976人	60.1%
	女	1,211人	36.8%
	回答したくない	101人	3.1%
1年生	合計	1,146人	34.9%
	男	644人	19.6%
	女	471人	14.3%
	回答したくない	31人	0.9%
2年生	合計	1,178人	35.8%
	男	747人	22.7%
	女	394人	12.0%
	回答したくない	37人	1.1%
3年生	合計	964人	29.3%
	男	585人	17.8%
	女	346人	10.5%
	回答したくない	33人	1.0%

### ○ 結果利用にあたっての注意事項

- ※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。
- ※ n(number of cases)は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- ※ 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合がある。
- ※ 4年生は3年生に含み算出している。
- ※ 複数回答方法・・・(MA)=いくつでも選択、(2MA)=2つまで選択
- ※ 表中、「回答したくない」「無回答」は性別について回答したくない事を意味している。

#### 4 自転車ヘルメット着用に係る回答結果

##### (1) 自転車利用状況

- 問5 通学や日常生活（出かける際など）で自転車を利用していますか。  
問6 問5で「利用する」と回答した方に伺います。自転車の利用目的は何ですか。  
問7 問6で「通学のみで利用する」「通学や外出で利用する」と回答した人に伺います。自転車の利用区間を回答してください。

##### ア 自転車を利用する生徒について

図1-1 自転車利用者数

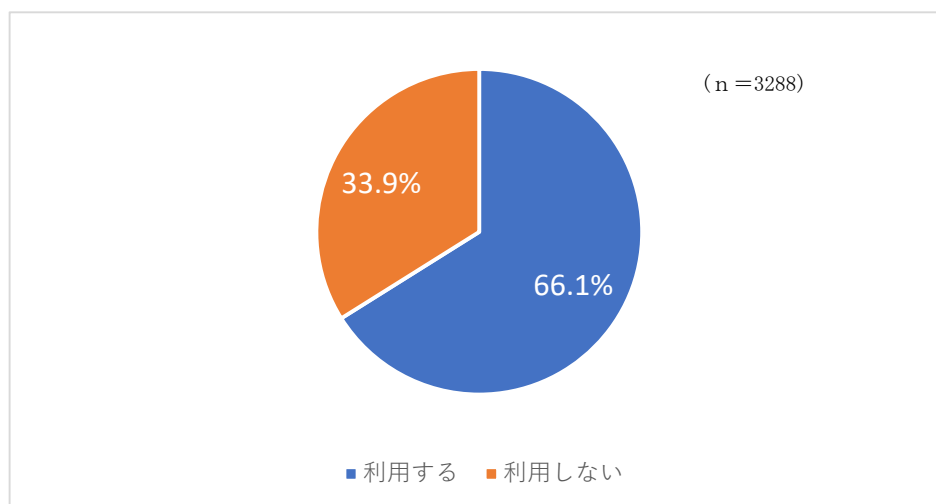


図1-2 学年別自転車利用者数

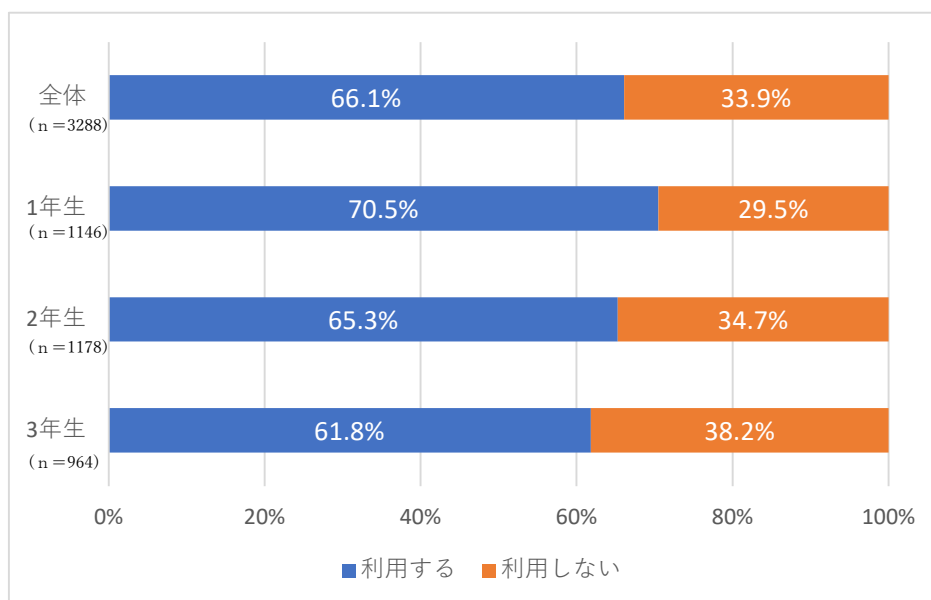
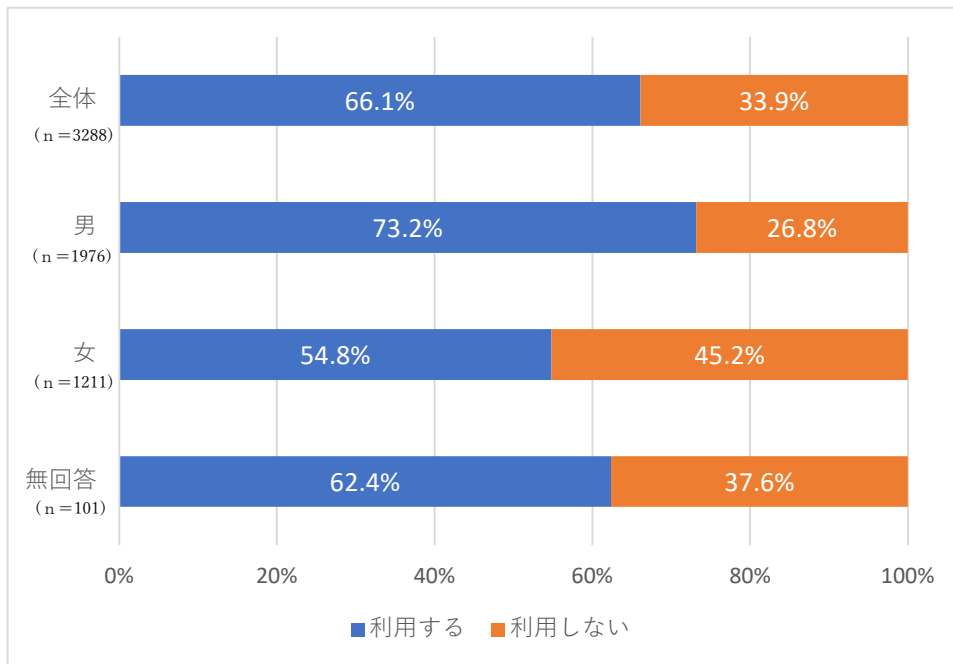
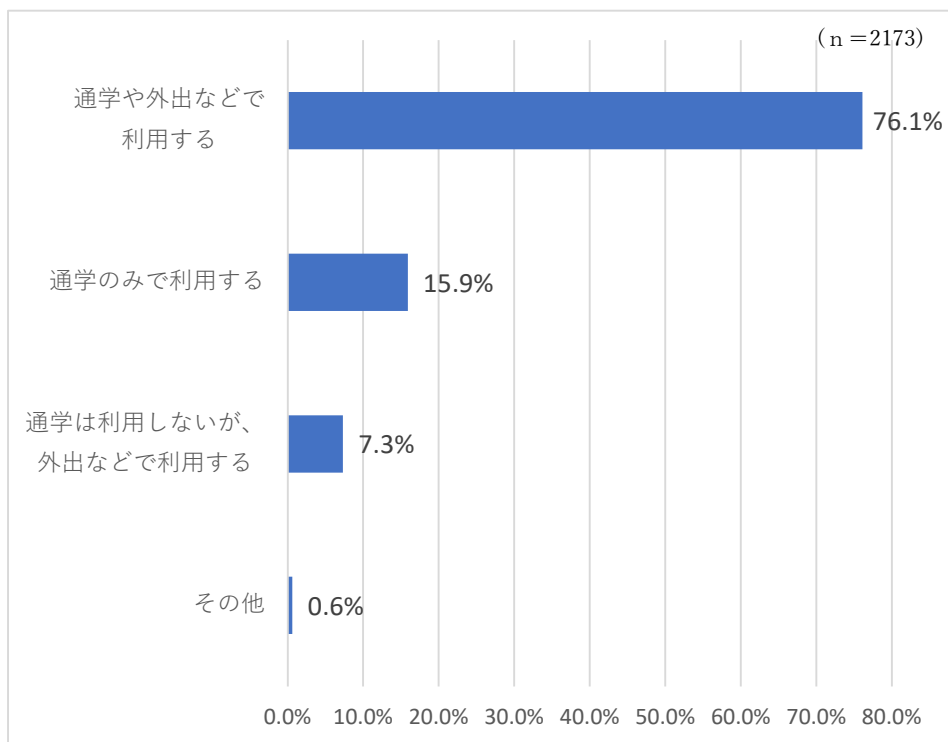


図1-3 男女別自転車利用者数



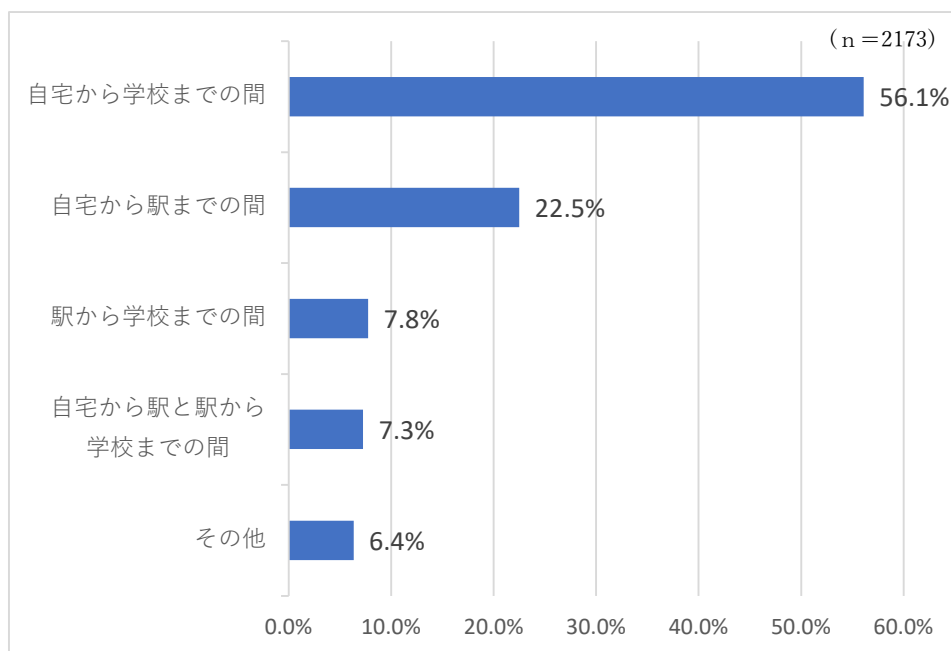
イ 自転車の利用目的について

図2-1 自転車を利用すると回答した生徒の自転車利用目的



## ウ 自転車利用区間

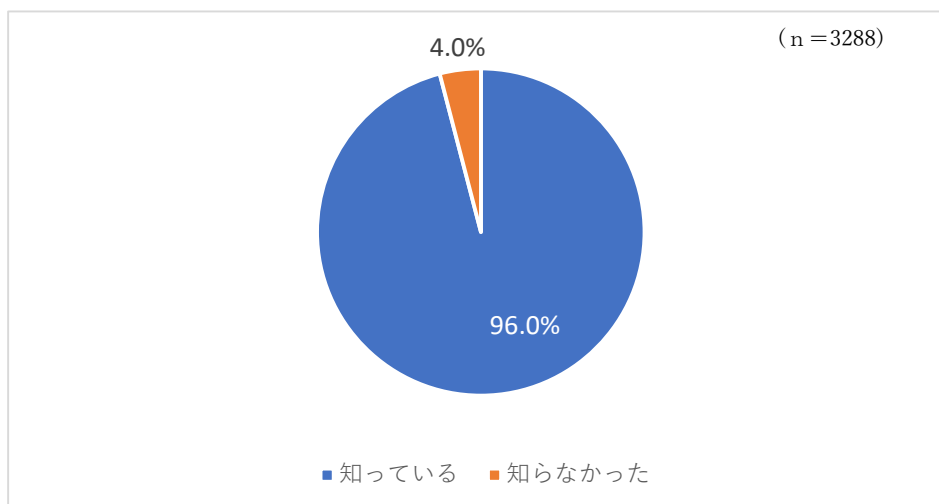
図2-2 自転車を利用すると回答した生徒の自転車利用区間



## (2) 自転車ヘルメット着用努力義務化の認知度

問4 道路交通法と栃木県の自転車条例で自転車に乗る際は、自転車ヘルメットの着用が努力義務となっていることを知っていますか。

図3 ヘルメット努力義務認知度



### (3) 着用可能な自転車ヘルメットの所持率

問8 問5で「利用する」と回答した方に伺います。

現在、着用可能な自転車ヘルメットを持っていますか。

※ ヘルメットを持っているが、実際に着用していないもの(例：中学校時のヘルメットなど)しかない場合は「いいえ」と回答してください。

図4-1 ヘルメット所持率(男女別)

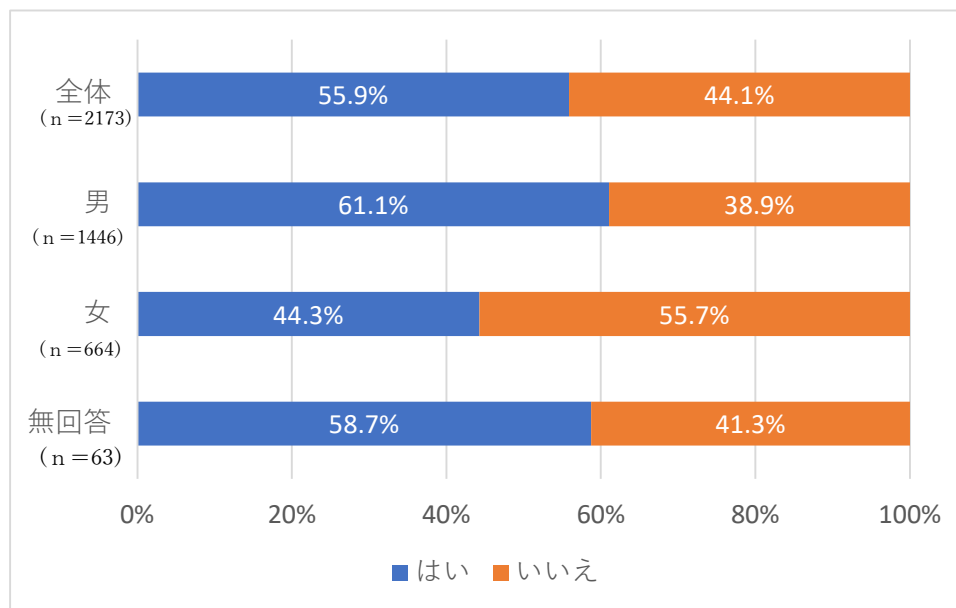
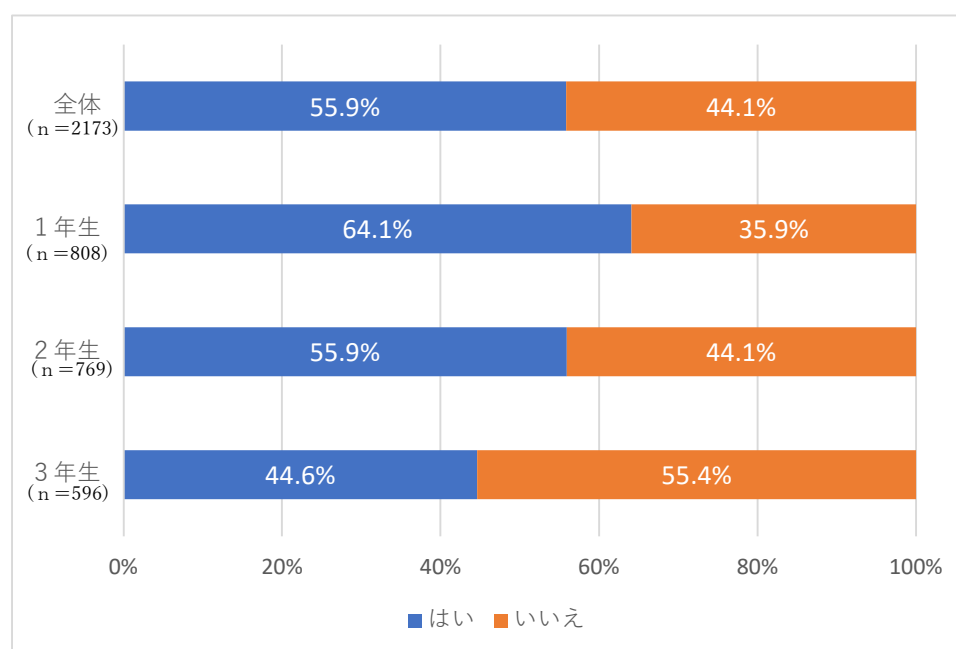


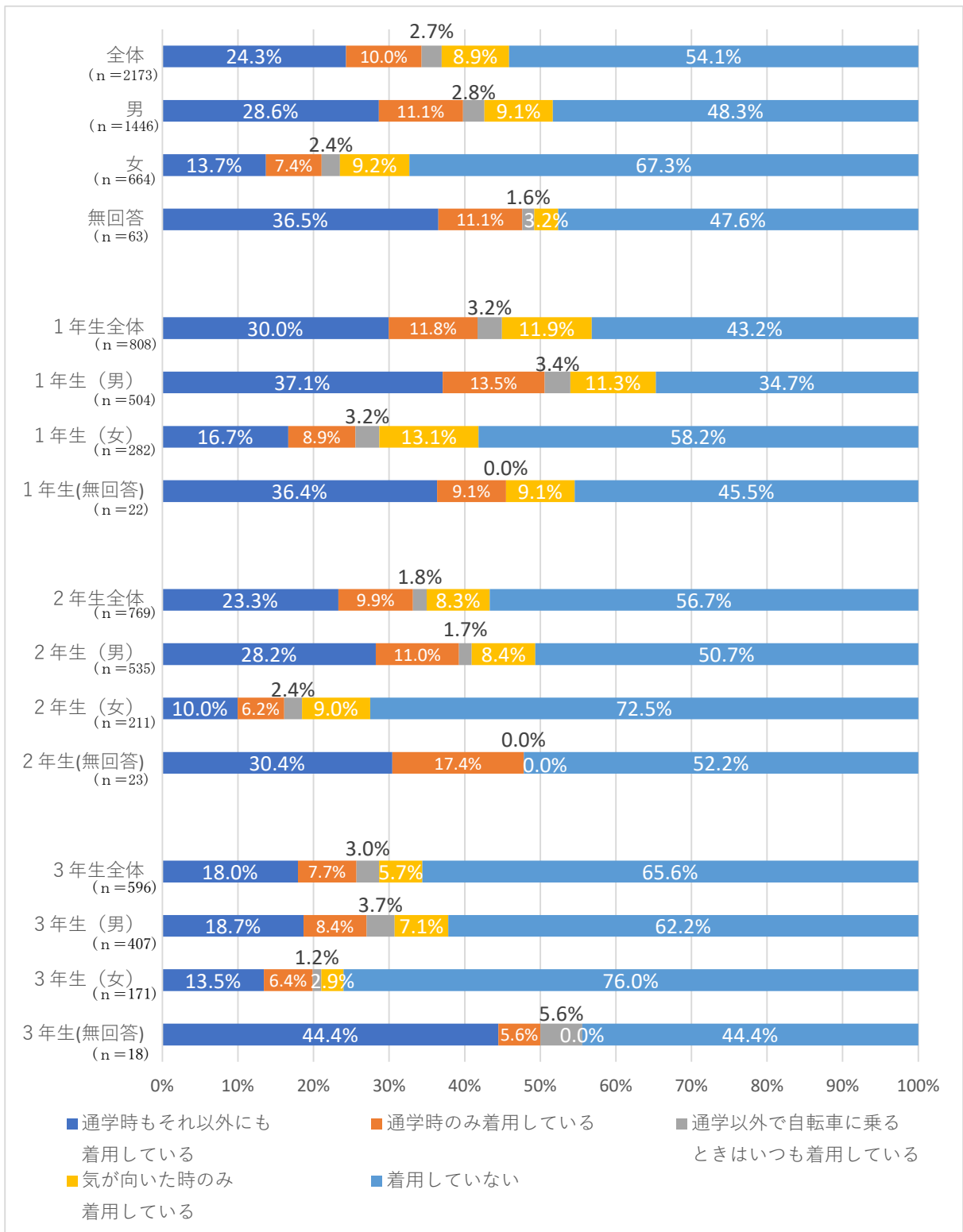
図4-2 ヘルメット所持率(学年別)



(4) 自転車ヘルメットの着用について

問9 問5で「自転車を利用する」と回答した方に伺います。  
 自転車を利用するときにヘルメットを着用していますか。  
 (通学時以外の日常生活も含みます)

図5 自転車ヘルメット着用状況



(5) ヘルメット着用の意志

問10 問9で「気が向いた時のみ着用している」「着用していない」と回答した方に伺います。高校生になって、今までに自転車ヘルメットを着用しようと思ったことはありますか。

問11 問10で「はい」と回答した方に伺います。自転車ヘルメットを着用しようと思った理由は何ですか。(最大2つまで)

図6-1 着用意志

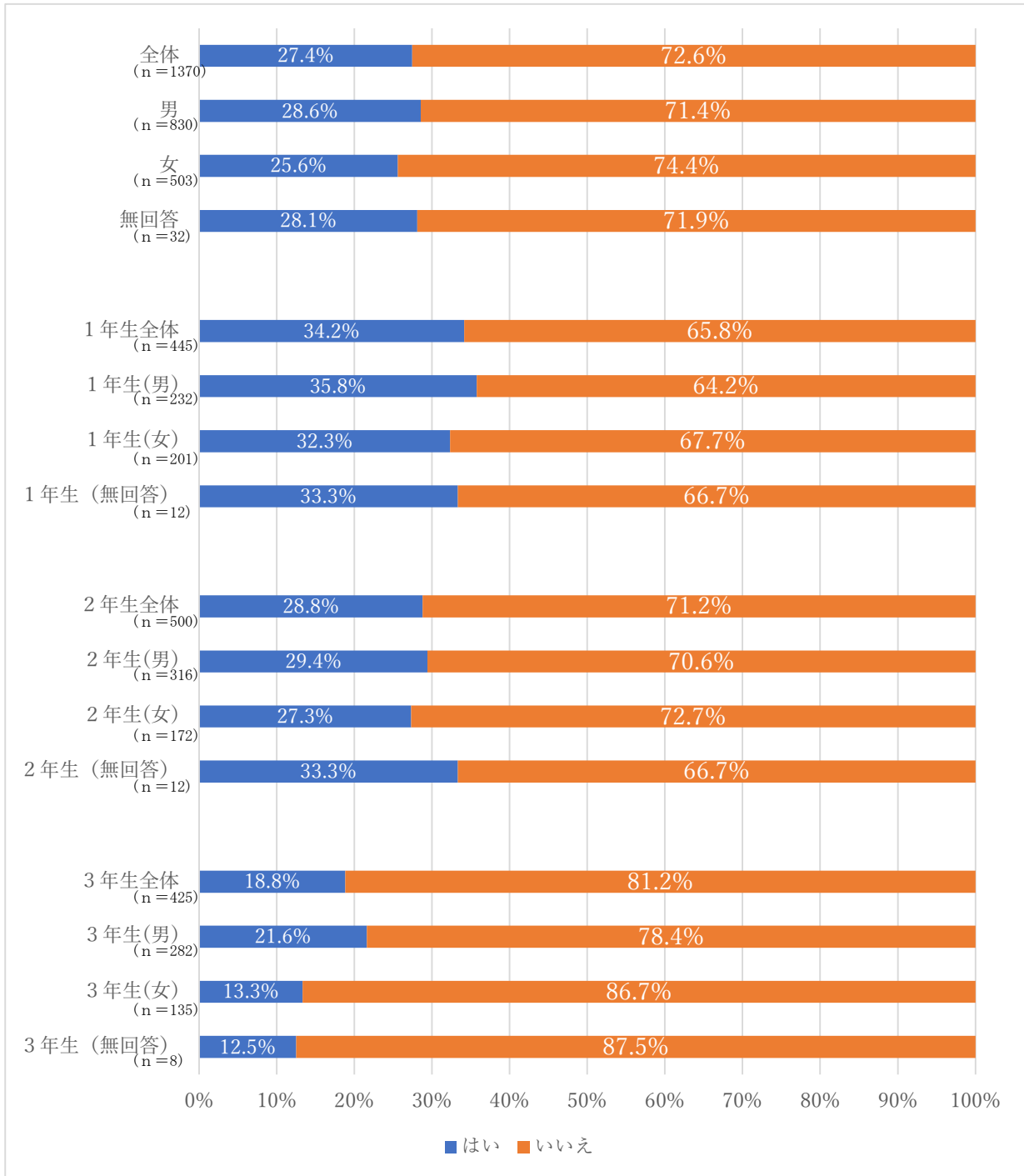
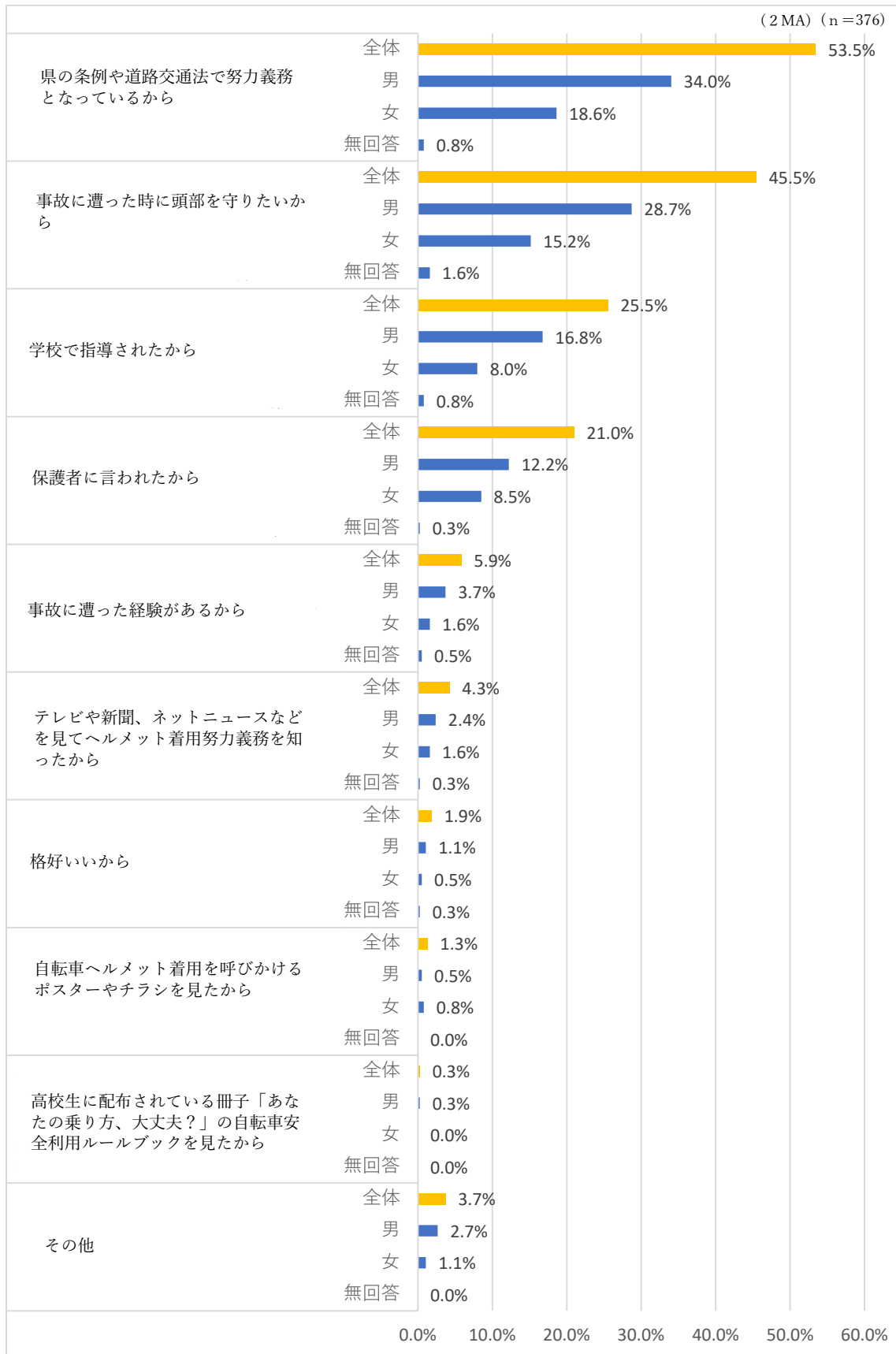


図6-2 着用しようと思った理由



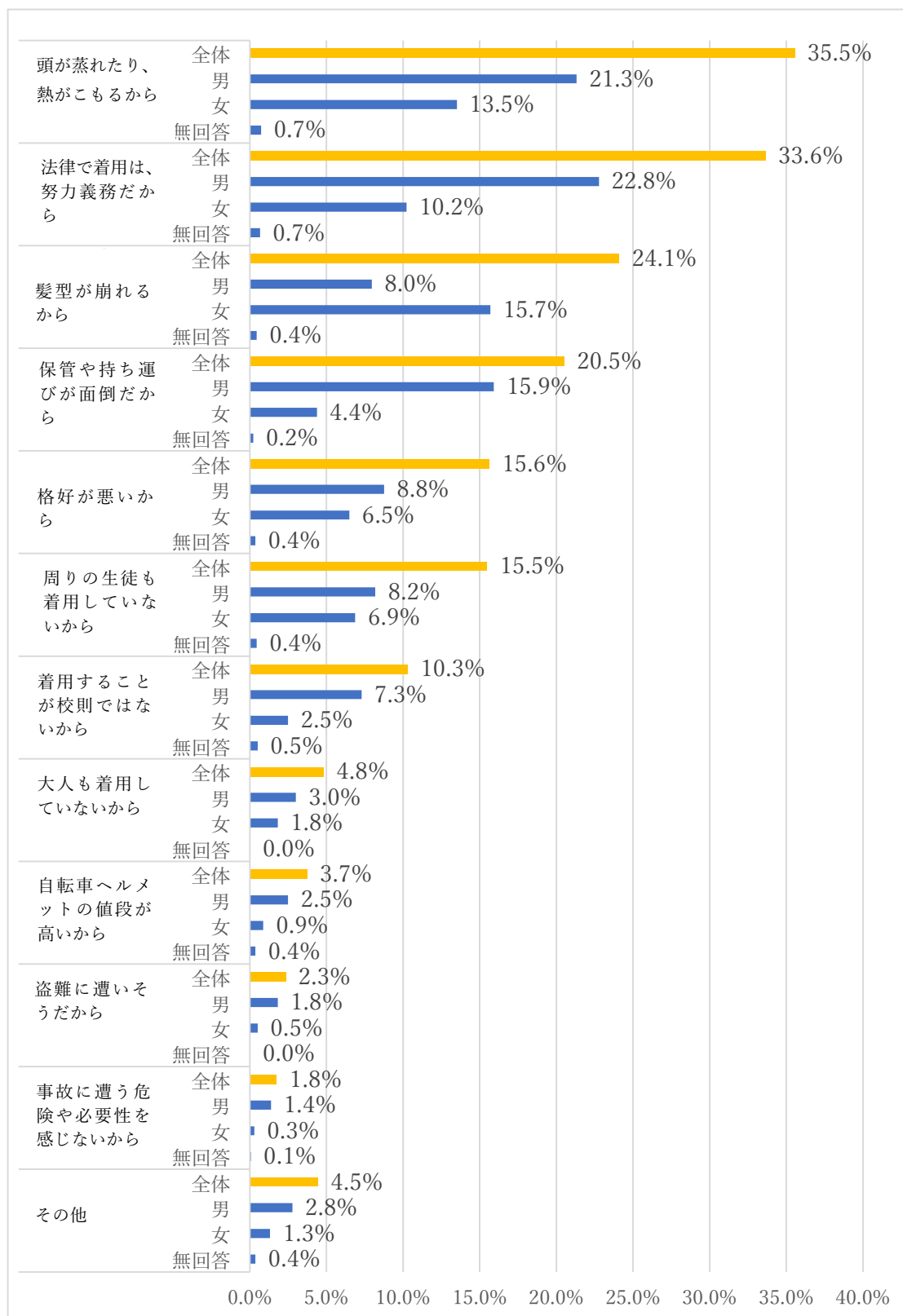


(6) 着用しない理由

問12 問9で「気が向いた時のみ着用している」又は「着用していない」と回答した方に伺います。自転車ヘルメットを着用しない理由は何ですか（最大2つまで）。

図7 ヘルメット非着用の理由

(2MA) (n=1370)



(7) 自転車交通事故による頭部重傷認知度

問 13 全国の自転車事故の死者のうち、半分以上の人が頭部に致命傷を負っていることを知っていますか。

問 14 ヘルメットを着用しない場合、事故に遭った際の致死率が着用時に比べて約2倍にもものぼることを知っていますか。

図8-1 自転車交通事故による頭部致命傷認知度

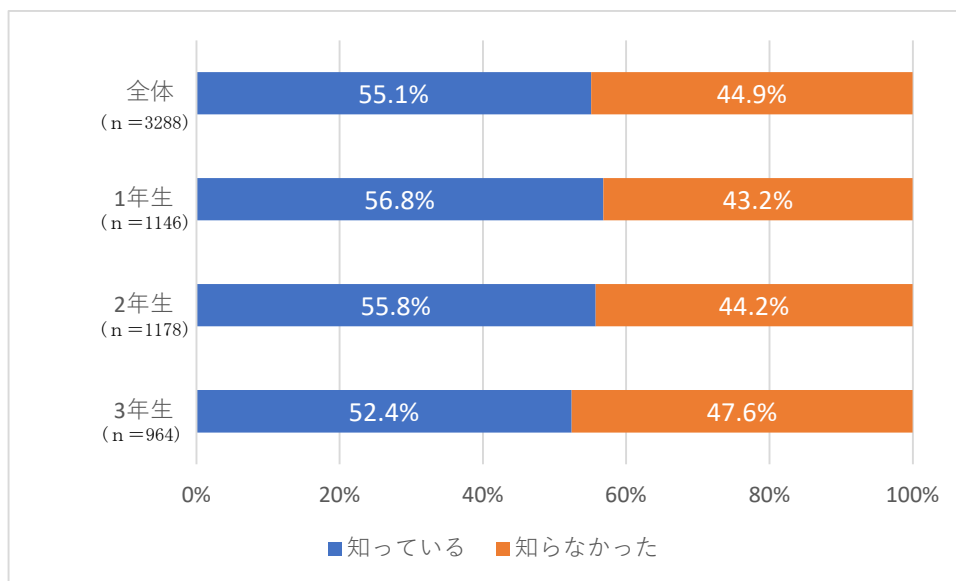
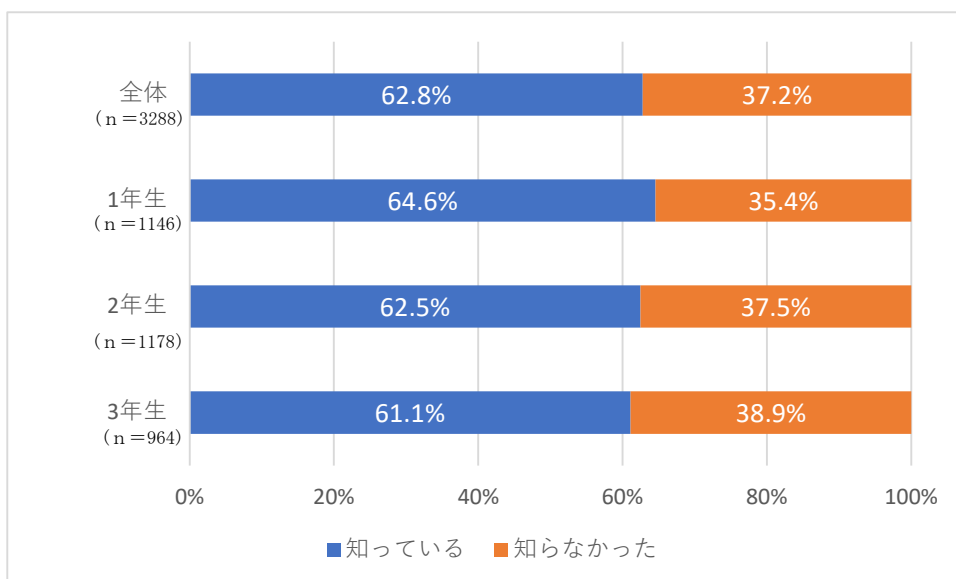


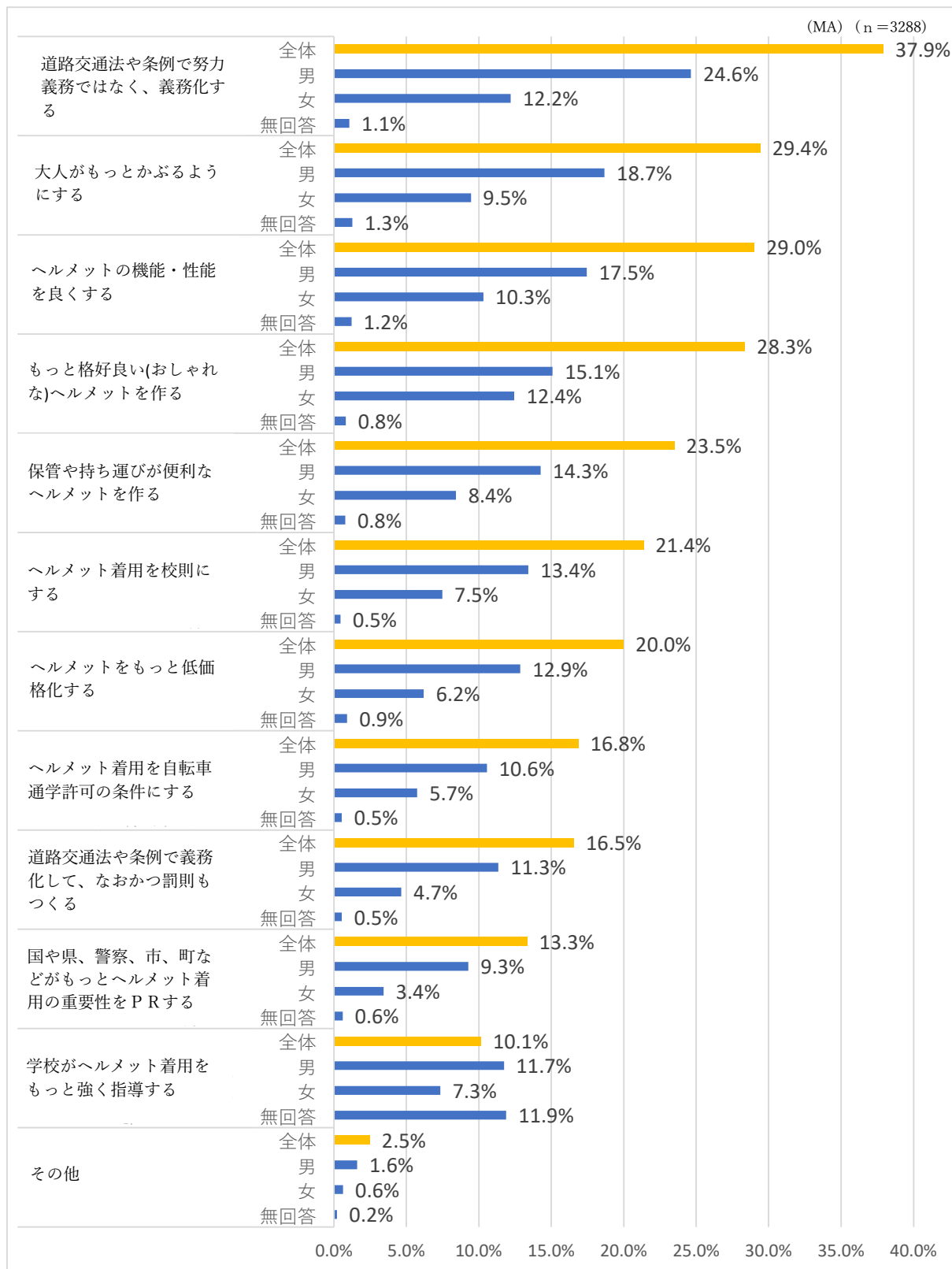
図8-2 ヘルメット非着用による致死率認知度



(8) ヘルメット着用率を向上させるための方法

問 21 現在、高校生のヘルメット着用率は低い状況です。どうすれば、皆さんがヘルメットを着用するようになるかと考えていますか。(複数回答可)

図9 着用率を向上させるための方法



## 5 自転車損害賠償責任保険に係る回答結果

### (1) 自転車損害賠償責任保険加入義務の認知度

問 15 自転車を利用する場合、栃木県の条例で、自転車損害賠償責任保険に加入することが義務であることを知っていますか。

問 16 問 15 で「知っている」と回答した方に伺います。どのような理由で知りましたか。  
(最大2つまで)

図 10-1 自転車損害賠償責任保険加入義務の認知度

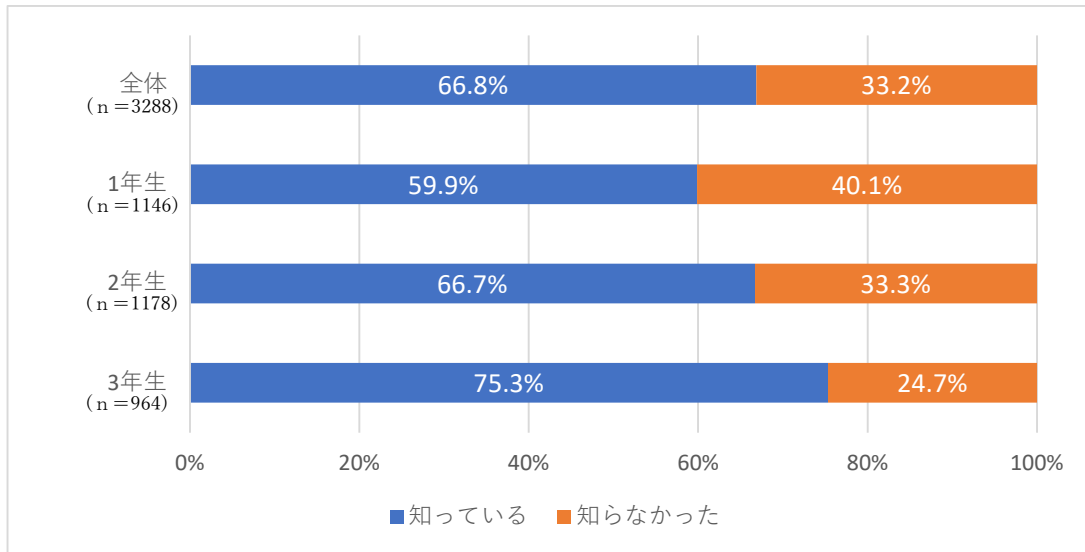
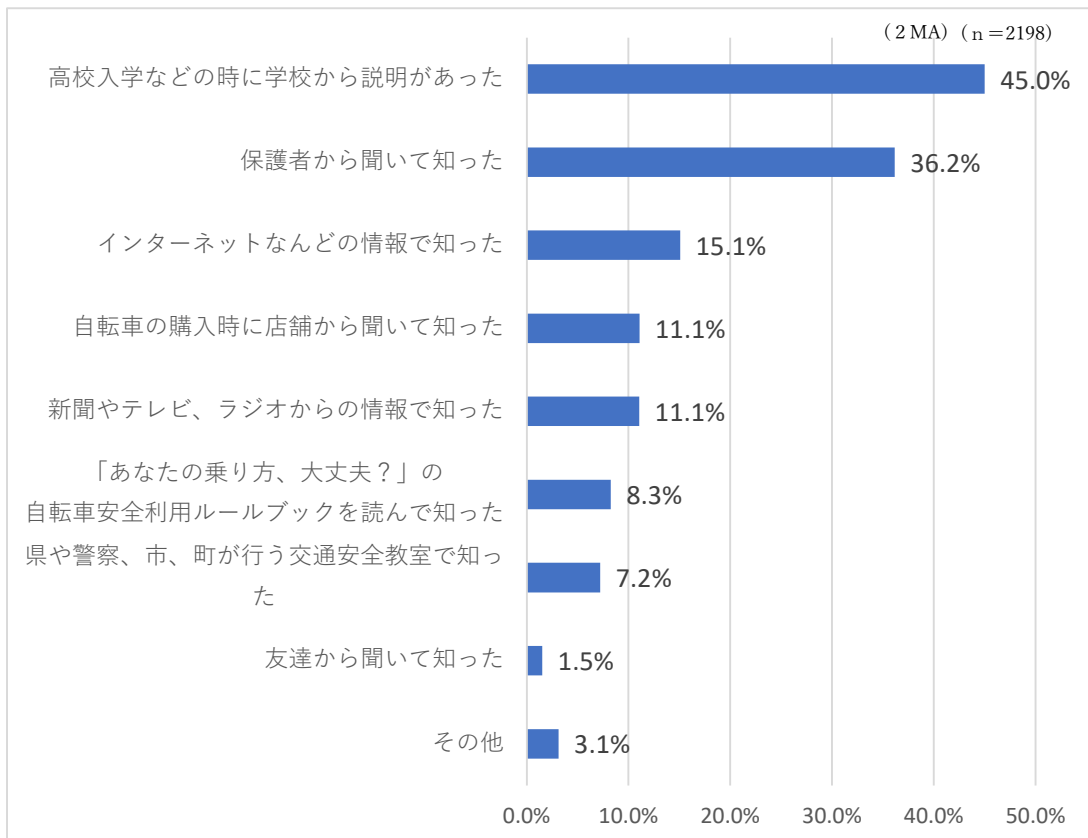


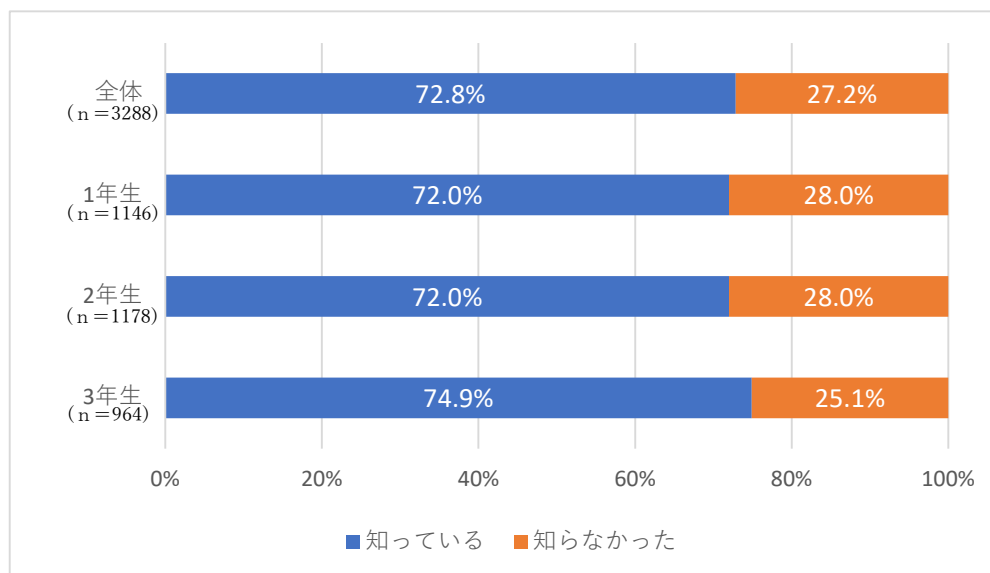
図 10-2 知り得た経過



## (2) 最高損害賠償額認知度

問 17 自転車の事故で相手に怪我を負わせてしまった場合、その損害賠償額が数千万円にものぼる場合があることを知っていますか。

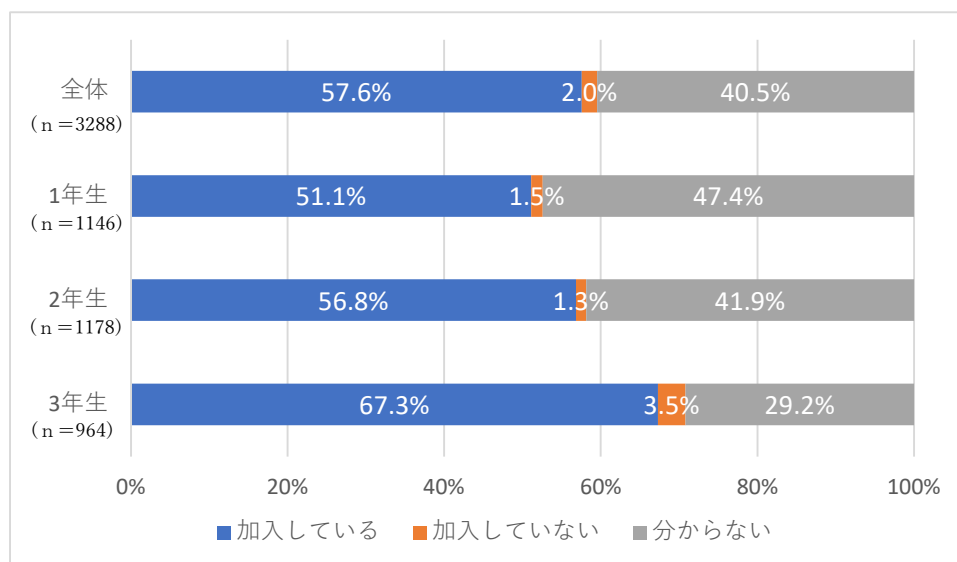
図 11 最高損害賠償額認知度



## (3) 自転車損害賠償責任保険への加入状況

問 18 「自転車を保有して、利用している人」に伺います。  
現在、自転車損害賠償責任保険に加入していますか。

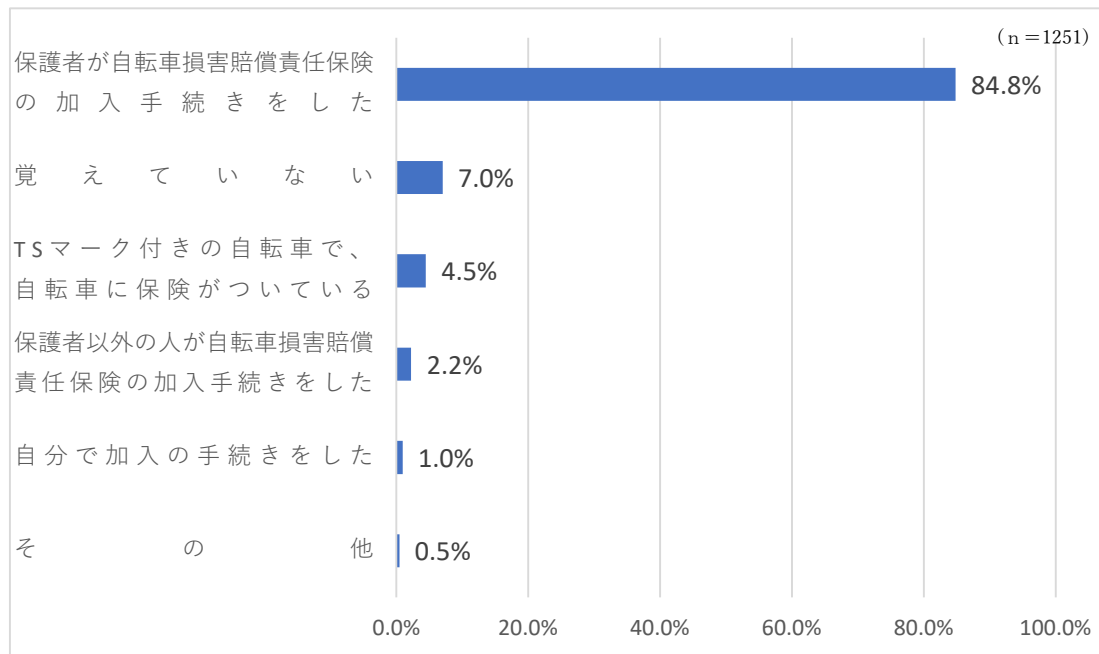
図 12 自転車損害賠償責任保険への加入状況



#### (4) 自転車損害賠償責任保険への加入方法

問 19 問 18 で「加入している」と回答した方に伺います。  
 どのように加入しましたか。

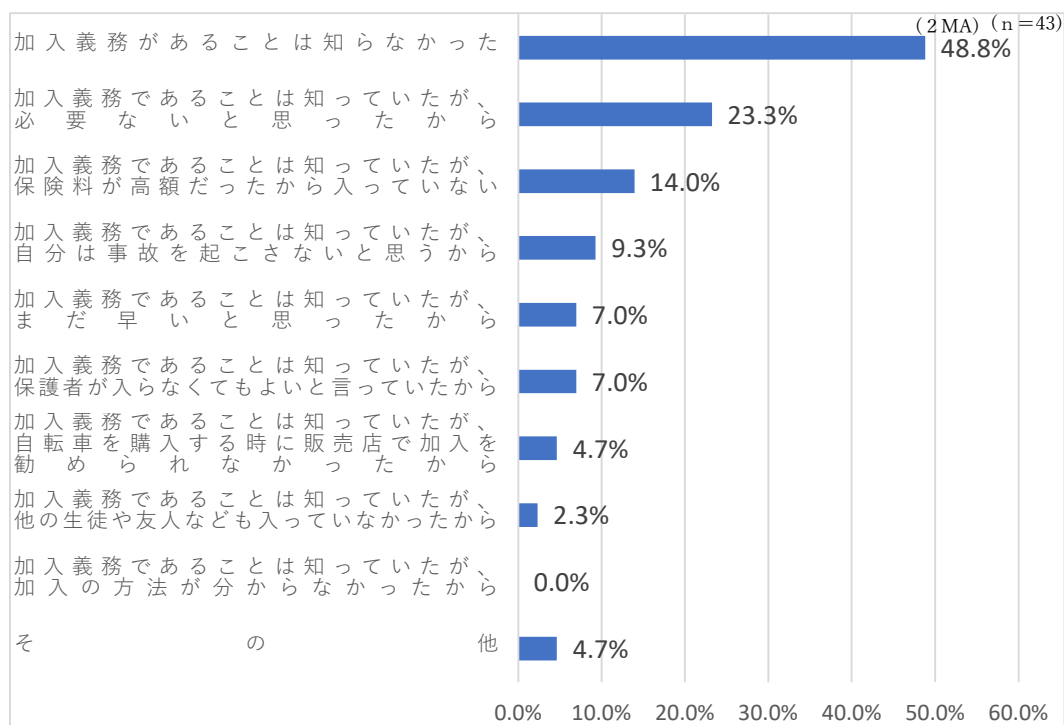
図 13 自転車損害賠償責任保険への加入方法



#### (5) 自転車損害賠償責任保険へ加入していない理由

問 20 問 18 で自転車損害賠償責任保険に「加入していない」と回答した方に伺います。  
 自転車保険に加入していない理由は何ですか。(最大2つまで)

図 14 自転車損害賠償責任保険へ加入していない理由



(6) 自転車損害賠償責任保険加入率を向上させるための方法

問 22 昨年の全国調査では、栃木県全体(成人を含む)の自転車損害賠償責任保険の加入率は他県に比較して低調でした。どうすれば、県内の自転車利用者の保険加入率を向上させられると考えますか。(複数選択可)

図 15 自転車損害賠償責任保険加入率を向上させるための方法

